

3.0. 脳神経内科 臨床研修マニュアル (選択)

1. プログラムの目的と特徴

脳神経内科では、問診と神経診察が重要である。検査は、あくまで問診や神経診察に基づいた臨床推論を確かめる手段である。この方法は、脳神経内科に限らず内科の基本的な考え方につながるものであり、内科医としての実力が身につく。神経症状は意識障害、頭痛、痙攣、歩行障害、麻痺、めまいなど多岐にわたる。救急外来で神経症状を主訴とする患者さんは、あらゆる主訴の中でも最も多いので、これらの初期対応を経験しておくとよい。頭部 MRI や CT などの画像や脳波検査の読影を、指導医と沢山行うことが可能。正しい診断や治療のためのエビデンスの見つけ方、プレゼンテーションの仕方、学会発表などで役に立つインパクトのあるプレゼンテーション資料の作成方法など、医師として必須のスキルを身につけることができるのも、当科の研修の特色である。希望者には、学会発表や論文執筆の支援も積極的に行っている。医学研究棟で行っている免疫染色などは、臨床と基礎医学の懸け橋となるものであり、これは当科の特色で最先端の内容にも触れることが出来る。

2. プログラム指導者と参加施設

プログラム指導者 岐阜大学医学部付属病院 指導医
協力型病院 岐阜大学医学部付属病院

3. 研修期間 4 週

4. 到達目標

- ・1か月の経験症例数 (目安)

- 1 脳脊髄液検査 10 例
- 2 電気生理検査 5 例
- 3 筋生検 1 例
- 4 神経生検 1 例

5 その他：内科的処置（採血、血液ガス、中心静脈カテーテル留置など）、ボツリヌス治療、嚥下機能検（嚥下造影検査、嚥下内視鏡検査）、人工呼吸器管理、気管カニューレ管理、神経超音波検査など

5. 方略

1. 研修開始初日に、朝 8:30 までに医学部棟 7 階 (7N27 第 2 研究室) に集合して下さい。朝のカンファレンスから参加して頂きます (オンライン)。カンファレンス後に、担当患者を割り当てます。指導医とペアになって頂きます。研修医のレポート作成のために必要な症例や、興味のある症例があれば、申し出て下さい。病棟患者の問診や神経診察を積極的に行って下さい。自分で診察した後に、指導医と一緒に診察を行い、診察手技を確認してもらうと、診察手技のレベルアップに繋がります。腰椎穿刺などの手技をたくさん経験したい場合は、積極的に指導医に声をかけて下さい。
2. 外来診察の見学や診察が可能です。問診や神経診察のポイントを学ぶことができます。指導医と相談の上、外来患者の初診の問診や診察を行うことも可能です。
3. 救急搬送されてくる患者さんや、外来の紹介患者の対応を指導医と一緒に行うことができます。神経救急疾患の実際を学ぶよい場になります。指導医と一緒に積極的に経験して頂くことを勧めます。
4. 2 階の電気生理検査室で行います。検査の日時は指導医と適宜相談してください。神経伝導検査や針筋電図検査を経験することができます。
5. 毎朝 8 時 30 分 (木曜は 9 時 00 分) からカンファレンスがあります (2025 年 1 月時点ではオンライン)

インカンファレンス)。新患の受け持ち患者がいるときは、プレゼンテーションを行ってください。プレゼンテーション資料はフォーマットがあります。資料は、指導医と一緒に作成し必ず確認してもらってください。毎週木曜日は、病棟に入院中の患者さん含めて全症例のプレゼンテーションがあります。前日の水曜日までに、週間サマリーを作成して指導医に確認して貰ってください。※感染症の拡大状況において開催形態が異なることがあります。

6. 木曜の13時30分より多職種カンファレンスがあります。入院患者さんの方針を多職種で検討しています。
7. わからないこと、困っていることがあつたら必ず指導医に相談すること。担当の指導医が不在で患者の件で急ぎ対応が必要な際は、他の指導医に連絡下さい。※各指導医の外勤のスケジュールや連絡先(PHS)が、東7記録室のボードに掲載しております。必要に応じて、確認してください。

6. 評価

1. 指導医は、日々の診療、カンファレンスでの発表、カルテ記載、手技の実施状況などを通して、研修医の到達度を随時評価し、フィードバックを行う。
2. 研修期間終了時に、到達目標の達成度を評価シートに基づき総合的に評価する。評価項目には、知識、技能、態度、責任感、コミュニケーション能力などが含まれる。
3. 研修医は、定期的に自己評価を行い、指導医との面談を通じて自身の課題を認識し、改善に努める。

7. 週間スケジュール

	月	火	水	木	金
午前	8:30 カンファレンス 病棟業務 外来	8:30 カンファレンス 病棟業務 外来	8:30 カンファレンス 病棟業務 外来	8:30 カンファレンス 抄読会	8:30 カンファレンス 病棟業務 外来
午後	病棟業務 16:30 曜下カンファレンス	病棟業務	病棟業務	13:30 他職種カンファレンス 14:00 回診	病棟業務

※腰椎穿刺や電気生理検査などの時間は、指導医に適宜確認してください。神経救急の経験も可能です。